

ワシントン大学(米国セントルイス)のMcDonnell国際奨学プログラム奨学生募集

ミズーリ州セントルイスにある、私立ワシントン大学では、**McDonnell International Scholars Academy** という留学生を対象にした奨学金プログラムを、2006年からスタートさせました。(<http://mcdonnell.wustl.edu/>)

このプログラムはアジアグローバルネットワーク作りを目指したものとなっています。したがって、卒業(留学)後、ビジネスや公的機関に進み、アジアをはじめ世界を舞台に活動したい人を対象としています。しかし、研究者を希望する人も、同じような志向の人なら、有資格者です。

毎年、25名程度が選ばれますが、アジアの協定校15校の在校生(学部、大学院)・卒業生のみを対象にしており、東京大学は協定校のひとつになっています。北京大学、清華大学、ソウル国立大学、シンガポール国立大学など、アジアの有力校などからの学生が対象であり、アジアの友人を作るよい機会です

25名の奨学生が一つのクラスを構成し、自分の専門の勉学をしながら、クラスとしてアメリカ文化や歴史の講義を一緒に聞き、ワシントン大学の学生も交えて交流を深めるようになっています。特別講義、課外活動などで著名な学者、政治家、アナリストとともに政治、文化、経済などの問題を議論することも計画されています。

このプログラムの特徴は、専攻分野を問わないことです。経済でも、法律でも、工学でもかまいません。学位(修士、博士)修得までの学費はもちろん、生活費が支給されます。渡航費もですから 非常によい奨学金と言えます。

ワシントン大学はシアトルにある、University of Washington(州立)が日本では広く知られていますが、Washington Universityは私立の大学で、寄付金の多い裕福な大学です。医学では全米トップクラスであり、文系のレベルも高いようです。工学部の規模は大きくありませんが、分野によっては優れた先生がおられます。このプログラムの東大担当が藤野の友人のShirley DYKE教授ということで、このプログラムの存在を知りました。2005年の暮れに、向こうからプログラム担当が見えて、小宮山総長に是非、東大からの応募を強く望んでいる旨のメッセージが伝えられました。

関心のある学生はHPを通じて、このプログラムの概要、応募要領を見てください。何か、質問があれば、藤野か長山が受け付けます。

藤野 陽三
[fujino@
civil.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:fujino@civil.t.u-tokyo.ac.jp)
長山 智則
nagayama@bridge.t.u-tokyo.ac.jp